

金浦地区まちづくり自治協議会

- ・プライバシー保護が言われる中で、要支援者の避難するのは大変なのに福祉委員、行政協力委員等で分担してやっているし、これから計画しているのには感心です。
- ・防災に対する地域住民の関心度を向上させるための努力、ご苦労様です。これからも8つの地区と一体化の上で、地区住民の為、力強く支えて上げて行って下さい。何かしようとする所には何かが生まれる。何もしない所は何も生まれませんと思います。
- ・まち協と地域内の組織を連携させようとする取組が素晴らしい。
- ・災害が起きたときのために防災組織がきちんとできていることは大切であると思った。
- ・これからの防災体制がどんな動きをしていくのか知りたくなりました。定期的に動きを発表してもらえるといいなと思いました。
- ・災害がおきたとき、助けに行く人を3、4人もきめている所がいいと思いました。
- ・災害が起きたときに、すぐ動けるように、活動を始めているのがすごいと思いました。
- ・公の手が行き届きにくいところで、難しく手間の掛かることに丁寧に進めていて、まち協として、とても大事なことができていたと思いました。
- ・「向こう三軒両隣」のフレーズがとても心に残りました。これからの災害への備えでは、家族だけでなく、近隣の人達とのつながりが大事だと感じました。
- ・防災で地域のつながりはとても重要なポイントだと思います。その中で金浦地区では、地域の様々な人とつながりを作り、みんなで防災活動をしていることはすばらしいと思いました。
- ・生活する上で、防災は欠かせない問題ですね。地域住民が安心安全で暮らせる様、今後の活躍をお祈りします。
- ・活動の現状や成果を常に住民に周知されることを願います。
- ・まち協が地区の組織をつなぐ。
- ・地域が主体的、自主的に避難所を開設・運営する仕組みづくりの具体化をすすめて、他の地域の参考になるといいね！
- ・モデル地区とはさらなる組織化、期待しています。
- ・各組織の連携が素晴らしい。どんどん躍進してほしい。
- ・金浦まちづくり委員会防災部会の一番良い点は、自主防衛会会長個人では出来ないことを防災部会が組織的に月1回会議を開き、会長個人が実施するのではなく、まちづくりの事務局が実施の援助をしてくれることである。このことが広がると良いと思われる。
- ・笠岡の中でも、先進的な取組をされている金浦地区の自主防災の取組はすばらしいと思います。地区の規模は違いますが、参考にさせていただきます。
- ・金浦地区防災計画大変立派な行事計画です、感心しました。これから皆様への徹底が大変でしょう、頑張ってください。
- ・地域の方々が全員参加出来る体制づくりが素晴らしいです。
- ・金浦地区の個別避難計画は、全市で作成すべき、必要性を感じました。
- ・まちづくり協議会の防災部会の連携を、は必要だと思います。
- ・DBとしてしっかり収めていこうとしている所が良いと思いました。
- ・いろんな団体とつながりを創って、役割分担していることがスゴイ！と思います！
- ・市内での防災組織を作る地区の先駆けとしての素晴らしい取組。

- ・防災部会の体制づくり。
- ・多様な組織と協働し、目標を達成しようとしていること。
- ・体制づくり、部会を中心とした課題解決と、まち協の王道を歩まれていると思います。これからも頑張ってください。
- ・個別の防災計画まで作成される労力は大変なものだと思います。更新作成も大変だと思いますが、次世代も加えて、是非頑張ってください。
- ・防災に関する組織としての体制、また計画がしっかり作られ、有事の際にどうするかというところまで話し合われているところが、非常に感銘を受けた。
- ・地域の防災に取組を担当防災会のみでは果たせていないのが実体です。まちづくり協議会全体フォローする交渉としてよきモデルとなります。
- ・金浦地区の防災対策の取組は安心、安全な生活確保に一番必要な事であり、2018年の西日本豪雨でも笠岡市内各地で大きな災害がありましたので、全ての地区で参考になると思いました。
- ・防災組織に掛ける気持ちが素晴らしい。言うことなし。
- ・仕組みをしっかり作られている。地域全体を把握している。
- ・防災計画は大切な課題です。特に吉浜地区は大雨時には浸水。金浦は、川に近い所が多く、計画を活かして下さい。

・各地区団体等の連絡網の作成は？→現在は、各地区自主防災会や防災関係機関の連絡網はなく、地区防災計画の策定において、自主防災会や地域の防災関係者の連絡網を作成します。併せて、災害時のライフライン問合せ先や地域の業者一覧を作成します。

・備蓄材については、どこまで地区で対応しているか→「まちづくり運営交付金」を平成24年度から活用して、毎年度各地区の配備要望を把握し、これまで保管庫、発電機、担架、折畳式リヤカー、水中ポンプ、格納箱、毛布、ホイッスル、非常食等多様な資機材や備蓄品を購入しています。今後は、地区防災計画に基づき、「まちづくり活動交付金」を活用して、地域の防災拠点や各地区避難所の備蓄品や物資を整備する予定です。なお、各地区自主防災会は、毎年5月に笠岡市に防災資機材配付要望書を提出、整備を図っています

・笠岡市との連携はどうなっているか→令和元年度の個別避難計画の作成にあたり、地域福祉課と連携し要支援者の支援・作成のスキームづくりや様式・記入要領の作成等に取り組み、また、毎年度の更新にあたって改善に取り組んでいます。現在、逃げ遅れゼロを目指し、新たな避難体制づくりに取り組んでいますが、迅速かつ円滑な自主的な避難所開設・運営には行政ルール含め多くの課題があるため、これから地域が主体的に、危機管理課と連携し、一つ一つ解決に取り組めます。